



あれは何才だったのだろう。

小学校高学年か中学生になっていたか…。

親戚の家に行っていた時、おばあさんがお盆に飲みものをつくって持ってきて下さった。

見ると、器から紙のついた糸が垂れ下がっている。

え？何これ？どうすればいいの？

私は内心かなり慌てていた。

そばにもう一人いたので、その人がどうやって飲むのか見ればいいのに、

私は自分がそれを知らないことが恥ずかしく、そのカップを見つめたまま、

考えた挙句、そこにあったスプーンでその紙も糸もお茶に沈めてしまった。

そして、ひと口すすりながら横を見ると、その人はカップをのせているお皿の上に

それを取り出していた。

あー！外へ出すのかー！！慌てて私もそれを外へ、いそいで出した。

とても恥ずかしかった。

家で母が時々作ってくれた紅茶は缶の中に葉が入っていたので、

糸付きの紅茶なんて見たことも飲んだこともなかったのだ。